



下野市立祇園小学校 令和7年度 学校だより 第3号

ぎおんばら

チャレンジ(挑戦)する学校

目指す児童像

- 健康で明るい子(たくましく)
- 進んで学ぶ子(かしこく)
- 心の豊かな子(なかよく)

令和7年6月19日発行 発行者 校長 高山 靖子

◆6月は、下野市いじめ防止強調月間です◆

下野市では、6月と11月を「いじめ防止強調月間」とし、いじめで苦しむ児童生徒ゼロを目指して市・児童生徒・学校・家庭・地域・関係機関や団体が丸となって、いじめ防止等の対策に取り組んでいます。本校では、全ての児童が安心して学校生活を送れるよう、「いじめをしない・させない・見逃さない」という強い姿勢のもと、**未然防止・早期発見・迅速な対応**に努めています。

◆本校でのいじめ防止強調月間の具体的な取組◆

(1) 「いじめアンケート」及び「教育相談アンケート」をもとに教育相談を実施

- ・いじめ防止強調月間に合わせて、全児童を対象に教育相談を行い、学級担任が児童ひとりひとりとじっくり話す機会をつくっています

(2) 「学級力アンケート」をもとに、子どもたち自身が自分たちの学級をよりよくするための作戦会議を実施

- ・「学級の力」として挙げられた五つの力について自己評価します。
- ・「目標をやりとげる力」「話をつなげる力」「友だちを支える力」「安心を生む力」「きまりを守る力」の五つの力について、高学年は15項目の観点で、低・中学年は10項目の観点で、いずれも4段階の自己評価をし、集計結果をもとに、よりよい学級にするためにみんなで何ができるかを話し合い、実行に移していきます。

(3) 全学年でいじめについて考え、話し合う道徳の授業を実施

- ・授業の中での子どもたちの考えや、振り返りの様子などを7月の学年だよりでお知らせします。



いじめをしない子どもに育てるために…

～家庭でも大切にしていきたい五つのこと～

1. 相手の気持ちを想像する力を育てる

「自分がされたらどう思う?」という問いかけを日常の中で意識的に行いましょう。相手の立場に立って考える力や習慣が思いやりの心を育て、心の土台をつくれます。

2. 「ことばの力」の大切さを伝える

言葉には人を元気づける力も、深く傷つける力もあります。「そんな言い方されたらどう思う?」と声をかけやさしい言葉づかいを家庭でも大切に。

3. 違いや個性を受け入れる価値観を育てる

「みんな違ってみんないいね」「人にはそれぞれ得意・不得意があるんだよ」「比べない! 決めつけない!」自分のよさに気づけると、違う相手も受け入れられるようになります。

4. 正しいことを大事にする気持ちを育てる

周りに流されず「これはよくない」「ダメなことはダメ」と思えることが、正義感や道徳心につながります。日常の小さなこと(順番・ルール・約束)から「正しさ」や「思いやり」を話し合う機会を大切に。

5. 自分の感情をコントロールする力を育てる

イライラや不安を暴力などの行動で表現せず、どう感じているか、気持ちを言葉で伝えさせましょう。伝わったという安心感が落ち着きにつながります。

☆私たち大人が、日々の中で「やさしさ」や「正しさ」を大切にする姿を見せることが、いじめをしない子どもを育てる近道かもしれません。学校と家庭が力を合わせていきましょう。

人権の花運動 ～人権擁護委員来校～

6月5日(木)に、人権擁護委員の間中様が来校され、「人権の花」の苗を届けてくださいました。

環境委員会の5・6年生へ向けて、『人権』ということについて、大変分かりやすくお話をしてくださいました。

その後、みんなで、「人権の花」の苗を花壇に植えました。この花を協力して大切に育てることで、生活の中に優しい気持ちが育っていくはずです。



～人権擁護委員 間中様 からのお話～

『人権』とは...

人が人として、社会の中で、自由に考え、自由に行動し、幸福に暮らせる権利です。これは全ての人が生まれながらに持っている権利です。もっと分かりやすくいうと「**自分らしく 明るく楽しく 生きる権利**」です。

「人権の花」をみんなで協力して育てることで、植物も生きていることに感動し、生命の大切さ、優しさと思いやりの心を学ぶことができます。そしてきれいに咲いた花を写生したり観察したりできます。学校に来る人に見てもらうこともできます。種をとって来年につなげることもできます。この**広がりやつながりが大事**なのです。

みんなが困っているときは、両親や先生、友達に相談してください。人権擁護員としても相談にのります。

決して一人で苦しまないこと、悩まないことが大切です。

1年生の教室の前の中庭の花壇で「人権の花」を育てていきます。



下野市教育委員会訪問

6月12日(木)に、下野市教育委員会教育長、教育委員の皆様、教育委員会事務局職員の皆様の 総勢11名が来校されました。

祇園小学校の教育活動の概要についてご紹介し、1学年～6学年まで全学級、特別支援学級、通級指導教室と、全ての授業の様子を参観していただきました。

子どもたちは、たくさんのお客様をお迎えして、緊張するのかなと思いきや、いつも通りの様子で元気に授業に参加していました。授業の様子をご覧いただいた教育委員会の皆様からは、教師と子どもたちとのコミュニケーションがよくとれていて、学級の雰囲気もよく、楽しく活発な授業が展開されていると、温かい感想をいただきました。

祇園小の子どもたちのよさを見ていただけ、私たち教職員も、現在進行中の教育活動に自信を持って取り組んでいけるという思いをもてる機会となりました。

